

鳥取県 資料

「三段ロケット型分権国家」モデルの提案

「三段ロケット型分権国家」モデルの提案

～住民のため、地域のために

平成22年6月 鳥取県

3
つ
の
柱

地域住民の選択のもと、住民参加により、地域のことを地域で決定する社会

地方と国とを通じて効率的行政サービスを提供する社会

地域の自由と自立とを確立するための財源が保障された社会

これまで

「三段重ね」型 行政スタイル



業務が重層的に重複

行政の肥大化

適正とはいえない役割分担

非効率な業務実施

ムダ

これから

「三段ロケット」型 行政スタイル



役割分担の明確化と連携

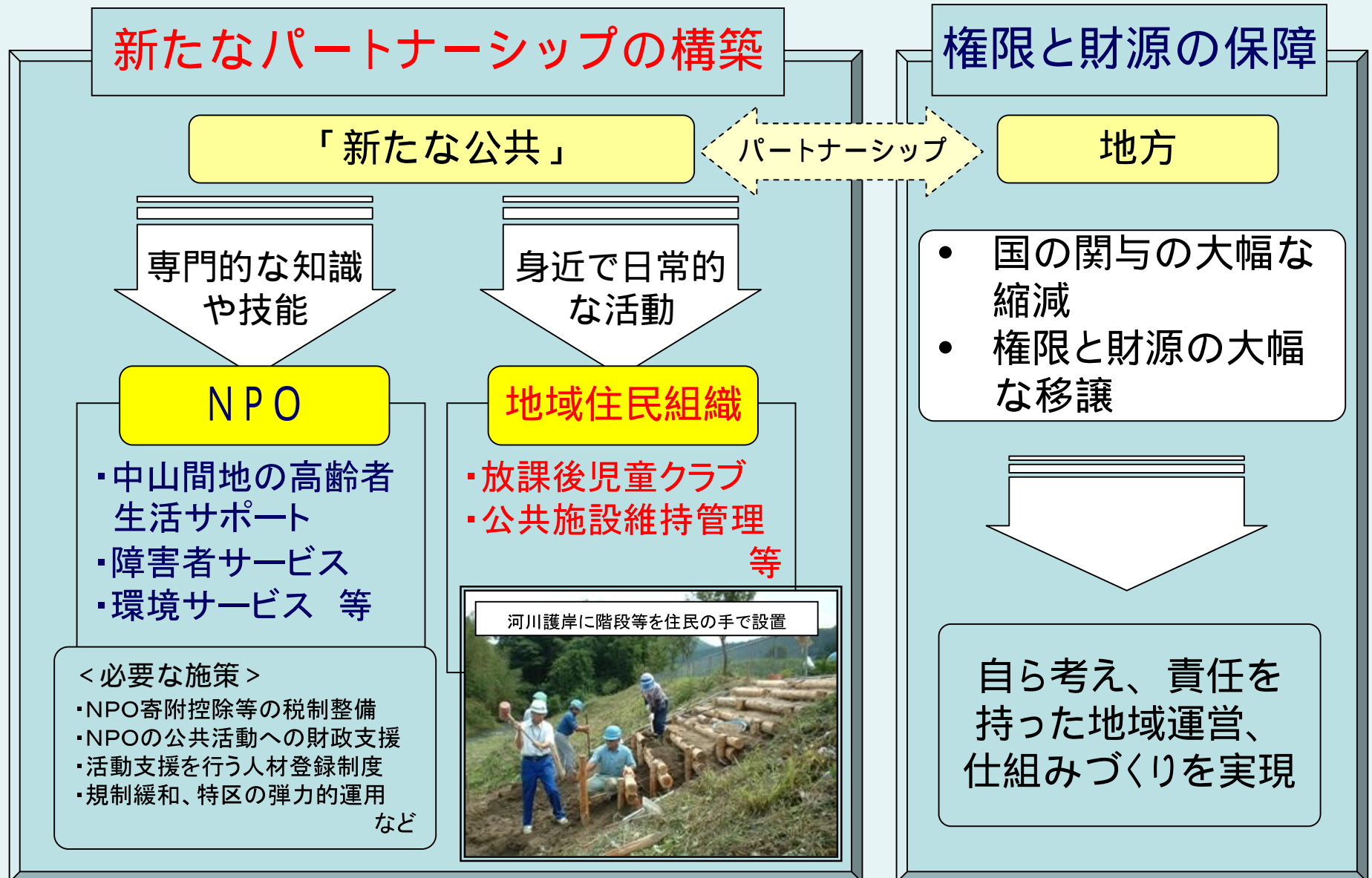
最高の高さの行政サービスに

最高のスピードで到達

「三段ロケット型分権国家」モデルの提案

～住民のため、地域のために

平成22年6月 鳥取県



簡素で効率的な「中間的な自治体」の創設について

ハイブリッドサービス提供主体 : 広域執行連合(仮称)

平成22年6月 鳥取県

都道府県間、都道府県と市町村間、市町村間で事務を共同処理する新たな中間的な自治体として、法人格を有する簡素で効率的な協議会「広域執行連合(仮称)」を地方で創設することを提案。

ハイブリッドサービス提供主体 : 広域執行連合(仮称)

- 都道府県、市町村のそれぞれの議会の議決を経て組織。
- 構成団体(都道府県・市町村)の議会で議決された予算を執行する。
連合長(仮称)の選任や、議会、監査などは、簡素で効率的な仕組みとする。
- 法人格を持つため、共同事務に係る予算を、広域執行連合(仮称)の名において執行が可能。
- 事務(法的権限の行使、契約締結等)も広域執行連合(仮称)が法的主体となり執行。

